別冊太陽

日本のこころ44

富士

特別付録「富士山神札」

WINTER 1983

別冊太陽
No.44
WINTER'83

日本のこころ——44

富士

巻頭賦 不盡の衣裳——4
詩＝草野心平　写真＝岡田紅陽

富士の素顔——9
富士の絵画 鎌倉時代から現代まで　構成・文 成瀬不二雄 35
富士の信仰——岩科小一郎 75
富士の意匠——99
富士の絵の歴史——成瀬不二雄 67
江戸庶民の富士信仰——岩科小一郎 91
あやかり富士——草森紳一 115
富士山の生態 誕生・動植物・噴火——森下晶 124
富士山の伝説と史談——遠藤秀男 131
別冊太陽既刊一覧——143
次号予告・編集室——146
特別付録解説＝岩科小一郎——146
特別付録「富士山神札」

表紙＝三ツ峠からの富士／写真＝岡田紅陽
目次カット＝円山応挙　富士山図屏風
写真＝飯島志津夫／オットー・ネルソン／キュウフォトインターナショナル（大山行男／豊高隆三）
白籏史朗／鈴木美智子／中川邦昭／平井満／松村芳雄／道岸勝一／山下喜一郎／吉田千秋／本誌写真部
編集＝高橋洋二・久田肇・鈴木道子
レイアウト＝太田徹也
校正＝荒尾克己

◉掲載資料所蔵・編集協力者一覧

〔五十音順・敬称略〕

和泉市久保惣記念美術館／板橋区立郷土資料館／井田清重／井出政久／伊藤堅吉／稲荷神社（足立区）／今泉安雄／上田敬／永青文庫／叡福寺／頴川美術館／大番城佐江／大室徳三／大屋書房／岡田智恵子／岡本文一／小野照崎神社／歓喜光寺／組田昌平／小島寿治／国立国会図書館／金刀比羅宮博物館／駒込富士神社／金台寺／サントリー美術館／四天王寺／上宮寺／島根県立博物館／清水賢一／鉦鼓洞／上文字逞／ジョン・パワーズ夫妻／真光寺／瑞泉寺／須走浅間神社／静嘉堂文庫／関川亨／瀬津雅陶堂／浅間神社（草加市）／大映／橘寺／田中良男／田端山元講／彫刻の森美術館／東映／東京国立近代美術館／東京国立博物館／東京美術／堂本四郎／富山美術館／中村堯子／中村溪男／名古屋市博物館／西村春吉／仁村重治／根津美術館／白鶴美術館／服部和彦／鳩ヶ谷市郷土資料館／林滋／原田利康／不言堂／富士櫻／富士山本宮浅間大社／富士吉田市立郷土館／藤原徳治／帆足市太／前田麻名／名著出版／藪本公三／藪本宗四郎／大和文華館／山中昭吉商店／横尾忠則／脇村礼次郎／和玄洞集古館

■写真＝角川書店／筑摩書房／日本経済新聞社　図版＝森下暢雄

THE SUN
Special Issue
No. 44　　Winter '83

Mt. Fuji

The beauty of Mt. Fuji changes in accordance with the change of season and weather or with the angle of the viewer. The foot of Mt. Fuji is composed of five lakes, a vast forest and many caves, and thus offers endless charms to the sightseers. The sense of beauty of the Japanese people is closely connected with the beauty of Mt. Fuji, and its reason will be explained historically as well as scientifically in this book.

1. Mt. Fuji as it is
2. Mt. Fuji in paintings
3. Mt. Fuji as an object of faith
4. Mt. Fuji in designs

Special supplement: Fujisan Shinsatsu (original size, Japanese paper)

Editor-in-Chief: Yoji Takahashi

富士
写真＝岡田紅陽

巻頭賦

不盡の衣裳

草野心平

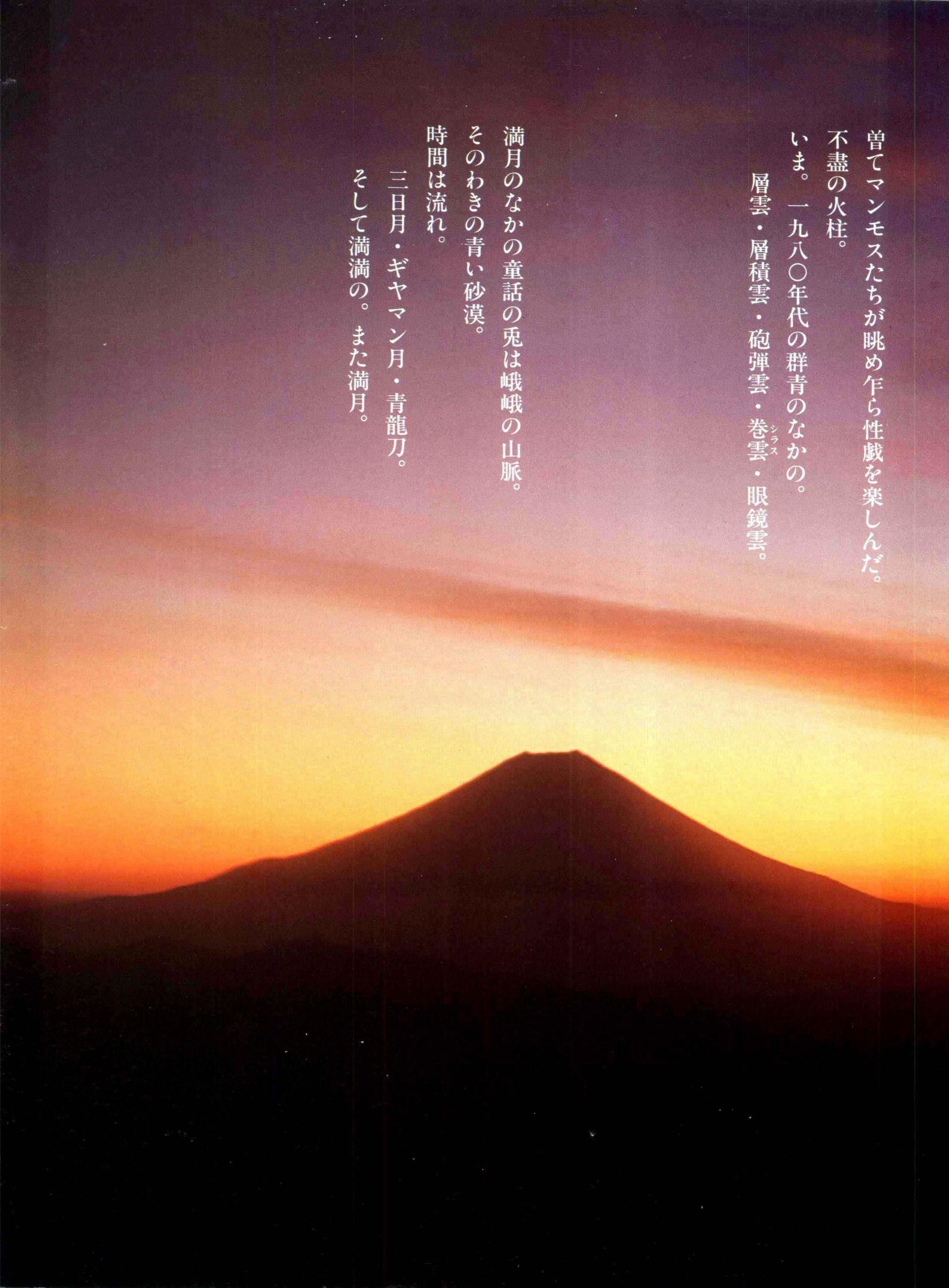
写真＝岡田紅陽

人造のものは一つもない。
不盡は宇宙物理の或る実体。
それをとり巻く衣裳類はみんなみんな。
天然の科学製品類である。
雲・光・闇・月・空間・太陽光。

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbook.com

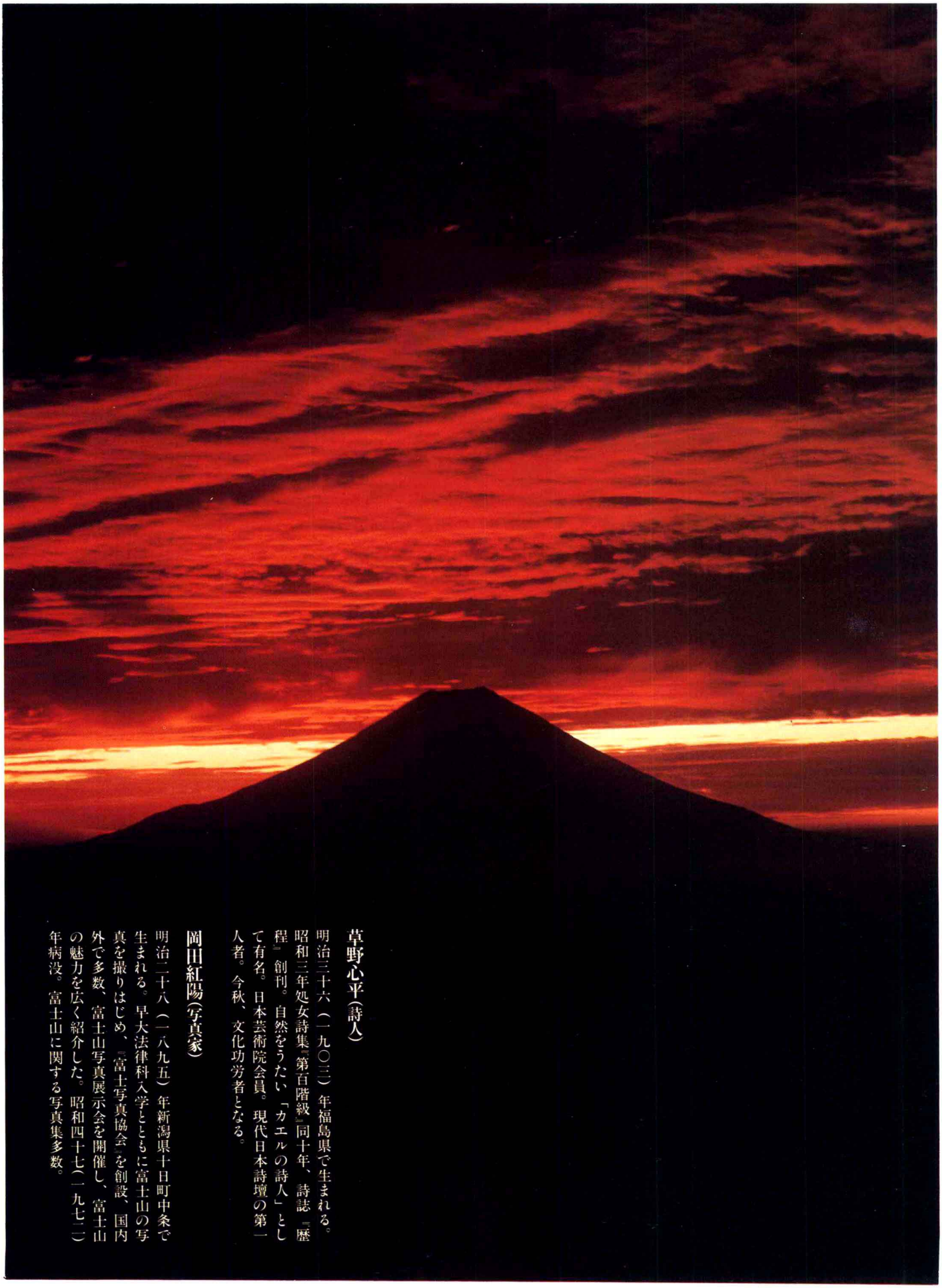
曽てマンモスたちが眺め乍ら性戯を楽しんだ。
不盡の火柱。
いま。一九八〇年代の群青のなかの。
層雲・層積雲・砲弾雲・巻雲（シラス）・眼鏡雲。

満月のなかの童話の兎は峨峨の山脈。
そのわきの青い砂漠。
時間は流れ。
三日月・ギヤマン月・青龍刀。
そして満満の。また満月。



朝の血達磨は太平洋の水平線から。
スルリせりあがり。
不盡山巓の雪は。
淡いバラ色。
その太陽が西に没する前の千変萬化。
金色の雲の横の直線。
気狂ひ赤の。
もくもくもく。

そして不盡は。
侯爵夫人の青白いふんわりの衣裳をかぶり。
独り静かな眠りに沈む。
けれども深い眠りの静謐のなかでも。
内部のすきとほつた水脈は眠らず。
五つの湖に沸きあがる。
その胴つ腹からは小さな瀧をはじき出す。
この大天然は眠つてゐても眠らないのである。



草野心平（詩人）

明治三十六（一九〇三）年福島県で生まれる。昭和三年処女詩集『第百階級』同十年、詩誌『歴程』創刊。自然をうたい「カエルの詩人」として有名。日本芸術院会員。現代日本詩壇の第一人者。今秋、文化功労者となる。

岡田紅陽（写真家）

明治二十八（一八九五）年新潟県十日町中条で生まれる。早大法律科入学とともに富士山の写真を撮りはじめ、『富士写真協会』を創設、国内外で多数、富士山写真展示会を開催し、富士山の魅力を広く紹介した。昭和四十七（一九七二）年病没。富士山に関する写真集多数。

富士の素顔

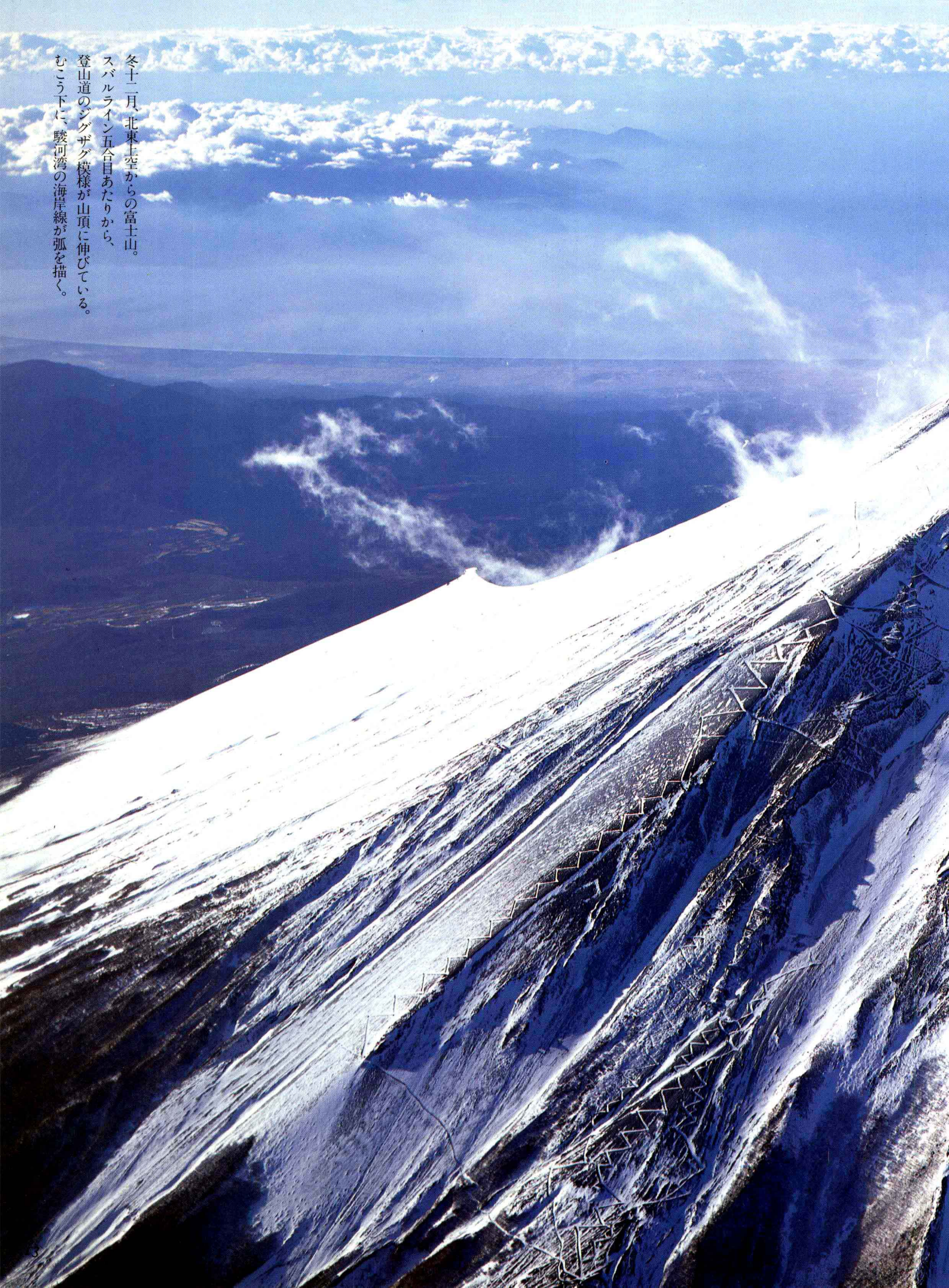
富士は富士さんと書いても
不思議のないほど親しみやすく、
整いすぎる傾向があるとはいえ、
やはり無限の美しさをもっている。
四季折々、刻一刻と変化する、
その表情をさまざまな角度から
とらえてみた。

[富士鳥瞰図]

この図は建設省国土地理院発行の20万分の1の地勢図を参考として編図した。
より立体的に見えるように標高を平面距離の1.5倍にしてある。
等高線の間隔は100m。
⑬～㉚は、該当地点よりみた富士山の写真の掲載頁を示す。

図版＝モリシタ

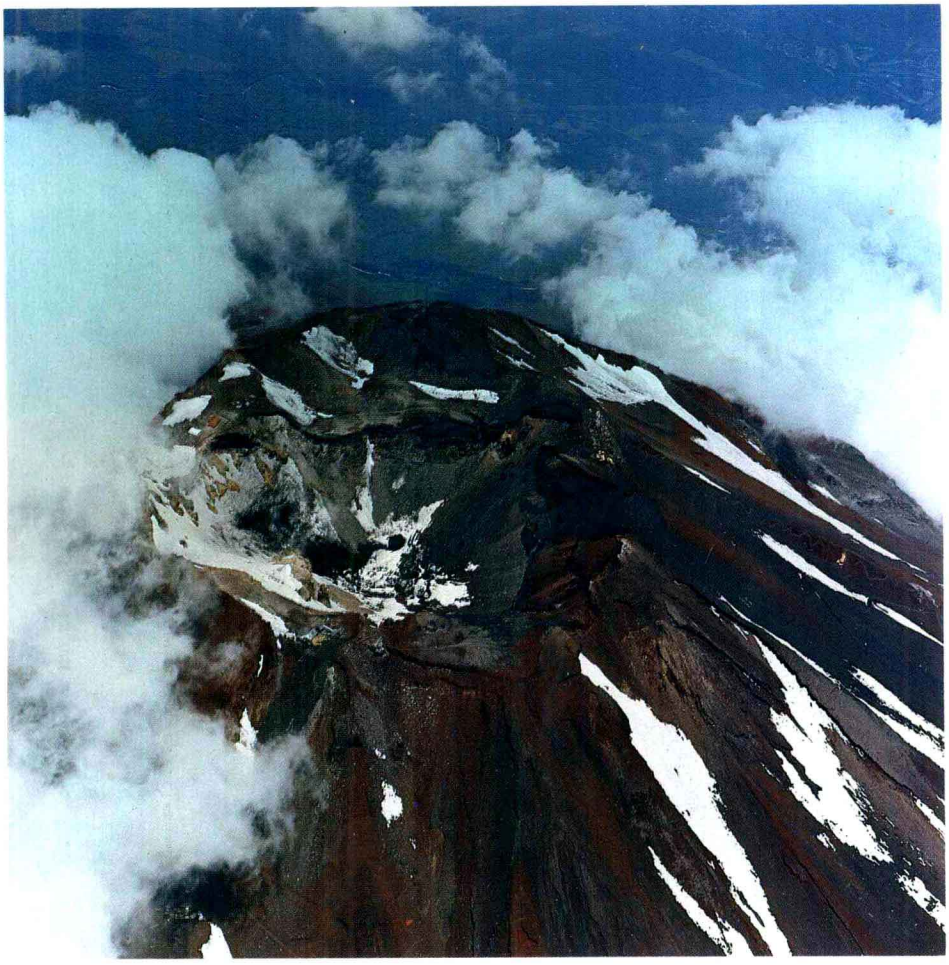
山梨県
静岡県
富士山
御坂山地
天守山地
駿河湾
内浦湾
河口湖
西湖
精進湖
本栖湖
山中湖
富士吉田市
富士宮市
富士市
沼津市
清水市
三島市
御殿場市
裾野市
富士川町
富士川町
富士見峠
朝霧高原
青木ヶ原樹海
富士スバルライン
富士スカイライン
日本ラードンイヴェイ
富士宮有料道路
富士急行
東名高速道路
新幹線
東海道本線
国道1号線
国道138号線
国道139号線
国道300号線
国道52号線
国道137号線
国道414号線
御殿場線
身延線
富士川
大室山 1468
長尾山
片蓋山
二合
三合
剣ヶ峰 3776
小御岳神社
五合
新五合
宝永山 2693
小富士
旧馬返
須走口登山道
須走
浅間神社
太郎坊
馬返
滝ヶ原
印野胎内
印野
御殿場
川島田
大沢崩れ
御中道
表口登山道
東口登山道
吉田口登山道
精進口登山道
人穴
田貫湖
天子ヶ岳 1316
雨ヶ岳 1772
毛無山 1946
根原
富士ヶ嶺
白糸ノ滝
上井出
北山
一合
山宮
浅間神社 元村山
越前岳 1507
十里木
須山
愛鷹山 1188
下和田
中野
神戸
吉原
柳島
田子ノ浦
富士川
蒲原町
由比町
興津
清水町
長泉町
三島大社
大岡
黄瀬川
狩野川
獅子浜
大瀬崎
江梨
三津
葛城山 45
大平
深良
駒門
都留市
十日市場
西桂町
鹿留川
枯子岳 1598
小明見
内野
忍草
忍野村
山中
平野
三国山 1339
山中湖村
籠坂峠
御正
大幡
1786 三ッ峠山
御坂峠
上芦川
芦川村
節刀ヶ岳 1736
王岳 1623
上九一色村
足和田村
勝山村
河口湖町
河口
大石
鳴沢村
風穴
鳴沢氷穴
本栖
根子
芦川
高萩
四尾連湖
鰍沢町
富士川
市川大門町
増穂町
六郷町
中富町
切石
下部町
岩間
三沢
古関
常葉
下部
早川
身延町
帯金
上佐野
南部町
内船
佐野川
南部
福士
富沢町
下稲子
万沢
徳間
芝川町
芝川
小泉
浅間神社
南松野
富士見峠
宍原
入山
小河内
和田島
但沼
庵原
興津川
興津
瀬名
草薙
袖師
三保
清水市
潤井川
五竜ノ滝
裾野市
黄瀬川
長泉町
三島市
清水町
沼津市
狩野川
大平
獅子浜
内浦湾
大瀬崎
江梨
三津
葛城山 45



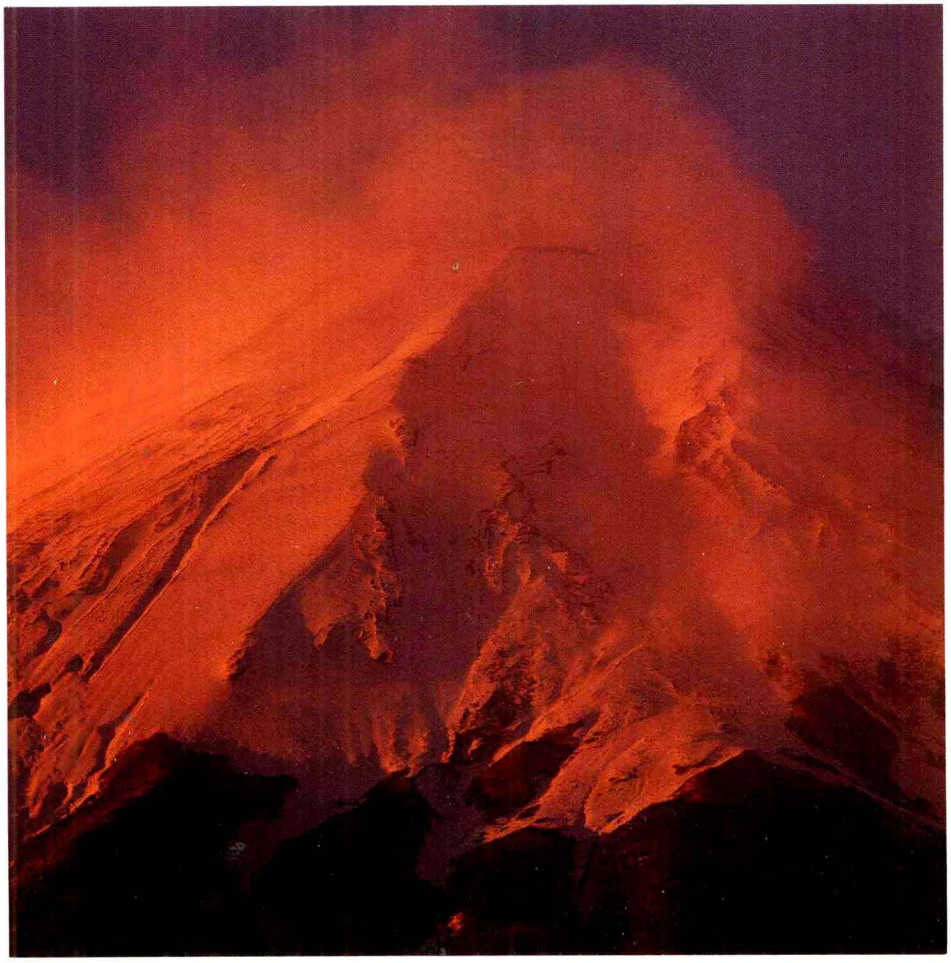
冬十二月、北東上空からの富士山。
スバルライン五合目あたりから、
登山道のジグザグ模様が山頂に伸びている。
むこう下に、駿河湾の海岸線が弧を描く。

冬12月、十里木高原から。雪煙が舞い、宝永山の火口が富士山を大きくえぐっている。

朝霧高原からの冬の夕映え。山頂の富士山測候所に灯がともる。



夏でも雪がまだ残る火口付近。溶岩が微妙な色彩の変化を見せている。



冬の曙、雪煙を舞い上げる忍野の紅富士。

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbook.com